

平成7年5月15日西の湖江ノ島地区の浸水床下浸水4戸一週間

湖岸道路が内水排除の障害に

琵琶湖の後期放流に時間がかかることによる浸水期間の長期化



琵琶湖ヨシ原の保全と浸水

ヨシ帯と内湖、水の流れがとどこおっている

天ヶ瀬再開発については上流びわこ、大戸川、下流宇治、大阪を考える

(大戸川)水害とダムが必要(他の工法の検討は必要)

1. 川の水位、2. 琵琶湖水位があがる、両方でヒガイ

琵琶湖治水と浸水被害

浸水承知で来たのでそれでもここに残りたいという意見も

下流のために被害をこうむっているという意識

ポンプアップは役に立っていない・動かすのが困難・内水排除はむずかしい

安全 莫大な工事費用、環境ハカイ

1500トンは宇治川では洪水

浸水被害、び総で終わっているはず、今ある浸水がおかしい

大津市の地盤沈下。浸水被害が出やすくなっている

ポンプの問題。面的水路整備が必要

湖岸堤それぞれで内水排除するよりも全体で水位調整したほうがよい

琵琶湖が西へ移動してる現象らしい地ばん低下が見られる

1500トンは道路冠水する

洪水(高水)の流過能力と災害

古い利水の一級河川が洪水(溢水)の災害がよくあった

利水の必要性短期的に考えるのではなく長期的に

水は宝物(ただしきびしい宝物)治水が表面に立つとジャマモノ扱いになるのが心配

出来るだけ色々な方策を講じ流過能力をあげる努力が必要である

安全でおいしい水を飲もうという見地から分水の対策は出来るはず

1000~1100トン放流ではダメですか

宇治の町づくりにも、もっと水が生かせないか

S28の水害で琵琶湖の水量と宇治川の水量の関連で影響した水量(1500t)

滋賀民の願い(1500t)

治水対策はこれでいいという線は引けない

水需要は下流ではもういらぬ。人口減少と需要の減少

宇治川流域は1500tは絶対困難。積島地域の堤防の強化。700tくらいなら何日間流れるか

(しが県)びわ湖流域ネットワーク 京都、大阪でも

ダムの水門のあけ方

琵琶湖沿岸対策の見直し、実施

洗い堰操作についての大変な議論。滋賀県苦しかった

琵琶湖事業の初期目標

びわこ総合開発の実態議論として本来にびわこのためになったのか

この際、木津川への放流など抜本案を検討すべきではないか
びわこをとりまく周辺の山林、森、里山等の保存対策は?
びわこ周辺の環境対策etc 周辺の山林、森林の水の保全などの対策 乱開発防止
山林対応、砂防は100年前から進められている

分流対策

びわ湖 木津川 分流

歴史的価値、景観保全 現状保全から検討

びわ湖 木津川へ

分流の具体的な検討をするべき

既存施設の活用 586t(単純計算) 調査けんとう要

天ヶ瀬ダム再開発に必要な施設は、既設、設備は考えない方がよい(検討は必要)

全水路河川の放流量をチェックする (total xt/s)

琵琶湖周辺農地溜池を復活、拡大、森林造成では年月的に効果がない

(対策) 下流域でも乱開発を防ぐ 環境保全対策

市街地開発の影響を軽くする行政指導 貯水池を強大に作ってもらう

1500トン放流関連工事で既に景観ハカイが発生

塔の島河道掘削は根本的ハカイとなる

宇治川の景観世界遺産と一体

掘削で川の自然が大きくかわってしまう。景観も

流域全体で各々が負担の共通認識をもつ

堤防は強化できるが茶園などにイキョウ

総合治水対策

水害の実情

他の視点 (生態系・利水ダムの安全性)

対策 (長所・短所)

上下流の視点